

事務事業名		花き振興事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業 <input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間	
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興			
	基本事業名	02 農業経営の安定支援		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 平成22 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 03 22 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	農林水産部 農林課			
	課長名	菅原 博幸			
	係名	農政係	電話	27-3111	
	担当者	大友 崇志	内線	7122	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・市内の花き生産者等の連携のもとに、大船渡市産花きを広く内外にPRし販売促進に努め、大船渡市の花き産業の振興を図ることを目的に、平成21年度から新たなイベントとして「花っこinおおふなと」を開催。 ・平成21年度は、花き生産者等と連携を図りながら企画し、市が主催となり初開催。 ・平成22年度に花っこinおおふなと実行委員会を設立し、市は、実行委員会の構成団体としてイベントの企画・運営に参画するとともに、事務局として実行委員会の事務・会計処理を行う。				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア イベント開催日数</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア イベント開催日数	日	イ		ウ	
名称	単位										
ア イベント開催日数	日										
イ											
ウ											
前年度実績(前年度に行った主な活動) 平成29年6月10～11日に「花っこinおおふなと」を実施した。											
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 平成30年6月2～3日に「花っこinおおふなと」を実施。											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 花っこinおおふなと実行委員会		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 実行委員会構成団体数(22年度設立)</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>キ 市内花き生産者数</td> <td>戸</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	カ 実行委員会構成団体数(22年度設立)	団体	キ 市内花き生産者数	戸	ク	
名称	単位										
カ 実行委員会構成団体数(22年度設立)	団体										
キ 市内花き生産者数	戸										
ク											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑な運営をさせる。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 打合せ会(実行委員会)開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>シ イベント来場者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ス イベントにおける花壇苗販売額</td> <td>千円</td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	サ 打合せ会(実行委員会)開催回数	回	シ イベント来場者数	人	ス イベントにおける花壇苗販売額	千円
名称	単位										
サ 打合せ会(実行委員会)開催回数	回										
シ イベント来場者数	人										
ス イベントにおける花壇苗販売額	千円										
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して農業を営む。											

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	200	200	200	200	200
		人件費計(B)	千円	800	800	800	800	800
		トータルコスト(A)+(B)	千円	800	800	800	800	800
⑤ 活動指標		ア	日	2	2	2	2	2
		イ						
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	団体	4	4	4	4	4
		キ	戸	10	10	10	10	10
		ク						
⑦ 成果指標		サ	回	2	2	2	2	2
		シ	人	1700	1700	1258	1700	1750
		ス	千円	348	336	329	350	400

事務事業ID	1341	事務事業名	花き振興事業
--------	------	-------	--------

- (3) 事務事業の環境変化・住民意見等**
- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 大船渡市が平成19年度に、花の愛好家の遺族から、大船渡市の花き振興に役立ててほしいと寄付を受けたことに伴い、市では、この寄付金を有効に活用するために関係機関等と連携しながら協議を重ね、新たなイベントを企画・開催することとした。このイベントを契機として、大船渡市産花きへの理解を深め、大船渡市産花きを家庭や地域などでもっと積極的に活用してもらい、大船渡市の花き振興及び農業全般の活性化を図るために、この事業を開始した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・花き生産者等の連携が図られた。
 ・平成21年度は市が主催となり実施したが、イベント内容からして、花き生産者が中心となる関係機関・団体等が主体で実施した方が望ましいのではないかという意見があったことから、平成22年度以降は実行委員会形式で実施することとした。
 ・当イベントの原資となっている寄附金は平成25年度をもって使い切り、翌年度から各店舗より出店料を徴収し、開催した。
 ・平成28年度からは、イベントの売り上げのうち10%を翌年度以降のイベント開催費用に充てることとした。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 ・市内で同種の継続的なイベントがないため、来場者から今後も継続してほしいという要望が寄せられている。
 ・世界の椿館・基石の自主事業との相乗効果があり、良好な賑わいを作ることができた。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げるにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

<p>(1) 改革改善の方向性</p> <p>① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止</p> <p>現状維持で継続する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果</p> <p>左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上維持		●	×	低下		×	×
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上維持		●	×														
	低下		×	×														
<p>(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等</p> <p>現状どおり継続して事業を実施する。</p>																		

4 課長等意見

<p>(1) 今後の方向性</p> <p>① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止</p>	<p>(2) 全体総括・今後の改革改善の内容</p> <p>現状維持で継続する。</p>
--	--